



波原便り 高

県立辺土名高等学校
令和8年4月24日(金)
発行者 校長 德里政哉

第1号

令和8年度 スタート

令和八年度が始まりました。今年度は校長・教頭・事務長がすべて新任となり、校長 德里政哉（とくざとまさや）、教頭 松千実光（まつせんじやつく）、事務長 下地俊成（しもじとしなり）の三役で学校運営を行って参ります。前年度の桃原校長に続き今年度も学校便り（波原便り）を発行していきます。波原便りでは、授業や部活動、行事等の様々な取組を掲載することで、生徒の振り返りとしての活用や保護者の皆様への活動報告として活用して頂ければと思います。生徒・職員の活動等、月に一、二回の発行を目指しています。（生徒へ配布・学校HP掲載）

今年度は、新たに七人の職員が加わりました。就任式では「自然豊かな学校で共に楽しみ、学びたい」等のお話がありました。全生徒・職員で、辺土名高校を盛り上げていきたいと思えます。

始業式では私（校長）から、新年度スタートにあたり生徒の皆さんに心がけて欲しいことを三つ話しました。一つ目は「あいさつ」、二つ目は「人とのつながりを大切に」、三つ目は「聞く態度」です。

これから社会に出て必要とされる存在になるために、絶えず周りへの感謝と謙虚な姿勢を忘れずに。成長し続ける人であって欲しいと願っています。

新学期、この美しい世界自然遺産の地域に恵まれた環境で、令和八年度も、皆さんが一生の友と呼べる人たちと出会い、心身ともに成長できるよう、期待しています。

本校の校訓

本校では校訓「誠・愛・勇」を体現できることを目指し、行事や全体集会で、声に出して唱えてもらっています。

私たちの校訓が意味するところは、一つ目「誠を以て己を持ち」には、誠実さをもって自己を持ち、常に真実を追求してほしいということ。自分自身と向き合い、誠実な心で、日々を過ごしてほしいという意味があります。

二つ目「愛を以て人に接し」には、他人に対する思いやりと協力の心を忘れず、お互い支え合う気持ちをもって欲しい。温かい友達関係をつくって欲しいということです。

三つ目「勇を以て事にあたれ」には、困難に立ち向かう勇気を持ち、新しい課題や目標に対し恐れず挑戦し、果敢に取り組んでほしいという意味が込められています。

新入生をはじめ、生徒の皆さんには、以上の校訓の趣旨・意味を改めて理解し、暗唱できるように覚えていただき、校訓を高校生活において、更には社会に出ても、心の支え、考え方、人生の苦難に直面した際の支えにして欲しいと思います。

新入生へ

高校前バス停の紹介

●学校校門前、国道58号線の海岸側には「地球に環境に人にやさしい 辺土名高校」の文字があるバス停。写真右手に見える黒い塊は、アジサシ繁殖観察保全地のサザマ石です。



●学校側バス停は、令和5年度環境科を卒業した生徒（上原蓬さん）が「辺高生にとって大切な場所、地域の人にも集まる場所になって欲しい」と、壁画を描いてくれました。在校生の皆さんも先輩方の気持ちを受け継ぎ、辺高生としての誇りを養って大切にしてもらいたいです。



入学式

4月7日（月）第84回入学式を開催しました。保護者及びご来賓の方々をお招きし無事終了することが出来ました。ご参加頂きました保護者・ご来賓の方々へ心より感謝申し上げます。新入生代表の伊藤共子さんの挨拶では「自身の自然豊かな暮らしの経験を織り交ぜながら、都会にはない田舎の魅力や多様な経験を持つ生徒同士の交流から得られる新たな学びへの期待」についての話がありました。1年生とは思えないしっかりとした言葉と、経験に基づく説得力のあるあいさつに、後日来賓の方からも、お褒めの言葉がありました。

在校生からは、本校の良さの一つに生徒同士や先生方との距離が近く、相談しやすいということがありました。生徒の皆さんは本校で積極的に生徒会活動、学校行事、部活動にも参加して、友人と切磋琢磨し、新たな可能性へ挑戦して下さい。

入寮する生徒、自宅外から通学する生徒は、不安もたくさんあると思いますが、心配なことがあれば一人で抱えずに、舎監や先生に気軽に相談して下さい。

新入生の皆さんが 辺土名高校に入学して良かったと思えるよう、学校としてもしっかりと生徒の皆さんを支援し、教育活動を行っていきたく思います。生徒及び保護者の皆さんもご協力よろしくお願い致します。

26日（日）は授業参観・PTA総会、30日（木）には遠足と行事が目白押しの1ヶ月が早くも終わろうとしています。5月に入るとゴールデンウィークと楽しい日々が待っています。体調に気をつけて、有意義な学校生活を過ごしましょう。

